



日本医療機能評価機構認定病院

医療法人 杉村会 杉村病院 地域広報誌



出会い in 杉村病院



Vol. 36 令和元年 5月発行



着任のご挨拶



医療法人杉村会 杉村病院
脳神経内科医長 杉村勇輔

経歴

- H22年 3月 東邦大学医学部医学科 卒業
- H22年 4月 板橋中央総合病院 初期研修
- H24年 4月 板橋中央総合病院 総合内科
(帝京大学医学部附属病院
虎の門病院など国内留学含)
- H26年 12月 東京都済生会中央病院 神経内科 (脳血管内治療科・脳卒中センター)
- H28年 4月 熊本大学医学部附属病院 神経内科
- H29年 4月 熊本赤十字病院 神経内科
- H30年 4月 熊本大学医学部附属病院 神経内科
- H30年 10月 熊本大学医学部附属病院 脳神経内科特任助教
- H31年 4月 熊本大学病院 脳神経内科臨床教授
- H31年 4月 杉村病院 脳神経内科医長

〔専門医・学会役職〕

- 日本内科学会認定医
- 日本神経学会専門医
- 日本脳卒中学会専門医
- 日本脳血管内治療学会専門医

2019年4月より杉村病院に着任いたしました杉村勇輔と申します。

これまでは熊本大学医学部附属病院 脳神経内科 特任助教として研鑽を重ねておりました。

専門分野は脳神経内科疾患であり特に脳卒中を中心に診療し、時にはカテーテルを使用した脳血管内治療も行っております。脳神経内科疾患は要介護となる疾患としては最も多く、平均寿命が伸びている日本においては、いかに【健康寿命】を延ばすかということが生涯を豊かに生活するためには重要になってきます。

杉村病院において急性期では患者様のニーズに合わせ、今や脳梗塞診療には欠かせない緊急で行うべきt-PAという点滴での血栓溶解療法や熊本の民間病院では初となる脳血管閉塞に対する緊急血栓回収術といった専門性の高い治療も常時検討可能な体制を整えていております。その他にも慢性期の神経難病の患者様や、脳神経内科の疾患ではないかと思われる初診や御紹介の患者様にも常時対応できる体制を整えております。必要に応じて外来や入院での回復期リハビリテーションまで、治療連携に切れ目のない診療が1つの病院でできるように、という思いで診療体制を構築していきたいと思っております。また、熊本大学病院 脳神経内科には関連病院として指定していただき、医局からも多大な御支援をいただいております。

大学病院で診療したほうが良い患者様と杉村病院のような民間病院で診療したほうが良い患者様の的確に判断できるように努め、さらに医療連携を強化していきたいと考えております。私個人としてまだまだ未熟ではございますため、至らないことも多々あるかと思いますが、杉村病院の充実した医療人の診療を学びながら、自己の糧とできることを楽しみに研鑽を積んでいきたいと思っております。当院にすでに受診されている患者様やこれから受診される患者様および御紹介頂いた医療関係者の皆様に、少しでも満足いただける様な診療ができるように心がけたいと思っておりますので、何卒ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



医療法人杉村会 杉村病院

〒860-0811 熊本市中央区本荘3-7-18
Tel. 096-372-3322 FAX. 096-371-0886
<http://sugimurakai.jp>



脳卒中

ひとつでも症状が出ていれば119番！

24時間365日救急体制スタート

当院は熊本大学病院脳神経内科の関連病院です

平成31年4月1日より杉村病院では脳卒中発症後の急性期脳卒中及びこれを疑う救急搬送患者様を24時間365日体制で受け入れています。また、他の医療機関からの転院搬送も積極的に受け入れます。急性期脳卒中が疑われる場合は迷わず救急車を呼んでください。

脳卒中の初期症状は

ACT-FAST

でチェックする

F ace **顔の麻痺**

顔の麻痺しびれが起こる
(手足のみ・顔のみに症状がでる。またその逆の症状)



A rm **腕の麻痺**

片方の手足の麻痺しびれが起こる
(手足のみ・顔のみに症状がでる。またその逆の症状)



S peech **言葉の障害**

言葉が出ない・他人の言うことが理解できない



T ime

心原性脳梗塞の場合、時間が経つとどんどん梗塞は大きくなってしまいます。

急いで行動せよ



脳卒中は治療の遅れが命の有無に関わります。

脳卒中急性期拠点医療

当院は、この度熊本県より脳卒中医療を担う医療機関として「脳卒中急性期拠点医療機関」として指定されました。さらに充実した医療を提供できるように24時間体制でしっかり対応してまいります。尚、この件は熊本県ホームページの熊本県総合医療情報システム 熊本医療ナビに掲載されております。

杉村病院の新たな取り組み

t-PA療法

脳梗塞は脳血管に血栓が詰まり、その先にある脳組織が壊死してしまう病気です。脳梗塞の発症から数時間以内であれば、詰まった脳の血管内の血栓を溶かして血流を再開させれば症状が回復する可能性があります。t-PA療法とは、脳血管に詰まった血栓を溶かしてしまう薬で、詰まった血管を短時間のうちに再開通することで脳梗塞から救うことのできる効果の高い治療法です。当院は、熊本大学病院脳神経内科に関連病院の指定を受け多大なご支援を受けながら、脳卒中診療体制を強化し、24時間365日、脳卒中治療を行っています。

溶かす

血栓を溶かす t-PA治療

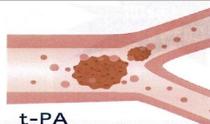


t-PAを静脈に点滴
全身の血管を循環し、血管を詰まらせている血栓に到達する。

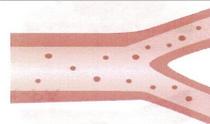
t-PAができる条件

- ・発症から4時間30分以内(現在は発見から4時間30分以内であれば対応できる場合がありますと言われています)
- ・梗塞巣が比較的狭い
- ・脳出血の既往がない など

発症から時間がたつと梗塞巣にある血管がもろくなり、血流を再開させた時に出血性梗塞を起こす危険がある。



血栓を溶かす
血小板の塊(からんで血栓を固めている「フィブリン」という線維を溶かす。



再開通
脳梗塞を発症した直後の血栓は溶けやすい。血流が再開し障害は最小限に。

脳血管内治療(血栓回収療法)

t-PA療法は一般的には再開通率が低いこと（約30-40%）や、現在の使用可能な時間が発症から比較的短いことが問題であり、その適応患者様も限られています。そこでt-PA療法によって症状の改善が認められない場合やt-PA療法の適応外で、麻痺や言語障害などの脳卒中症状を発症してから8時間以内（現在では24時間以内であれば適応となる場合もあるといわれています）で、脳の主幹動脈(太い動脈)が詰まったことによる脳梗塞と診断された患者様に対し、カテーテルを用いた脳血管内治療が行われるようになり、最近では血栓回収器具による血栓回収療法が注目されるようになってきました。当院でもt-PA療法のみならず、該当する患者様に対しては積極的にカテーテルによる急性期脳血管内治療を行っています。いずれの治療も可能な限り早期に行うことが重要ですので、しゃべりにくい、手足の動きがおかしいなどの症状があれば様子を見ずに速やかに受診くださる事をおすすめ致します。

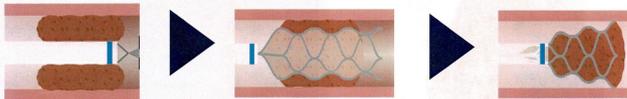
取り除く

取り除く カテーテル治療

ステント型の場合

血管治療ができる条件

- ・発症から8時間以内（現在では24時間以内であれば適応となる場合もあるといわれています）
- ・梗塞巣があまり進行していない
- ・詰まっている血管が直径2mmより太い など



カテーテルを挿入

マイクロカテーテルを挿入し、ガイドワイヤーで血栓の遠位まで誘導する。

血栓を絡め取る

ステントストラットに血栓を絡めて取り除く。

血栓を回収する

血栓を絡め取ったステントやワイヤーごとカテーテル内に回収する。



ドライブシミュレーターを導入

4月よりドライブシミュレーターを導入し、仕事や生活のために自動車の運転が必要な方を対象に自動車運転のための支援を行っていきます。

導入するドライブシミュレーター(三菱プレジジョンDS-7000R)は、西日本の医療施設では初となる検査装置であり、運転に必要な身体機能検査と運転シミュレーション機能を充実させることにより運転能力を総合的にチェックしながら、トレーニングやリハビリテーションにも使用することができる多目的な検査装置です。

【対象】

脳卒中による高次脳機能障害や高齢者の認知機能低下など、自動車運転に必要な高次脳機能リハビリや評価、認知機能の評価が必要な方です。



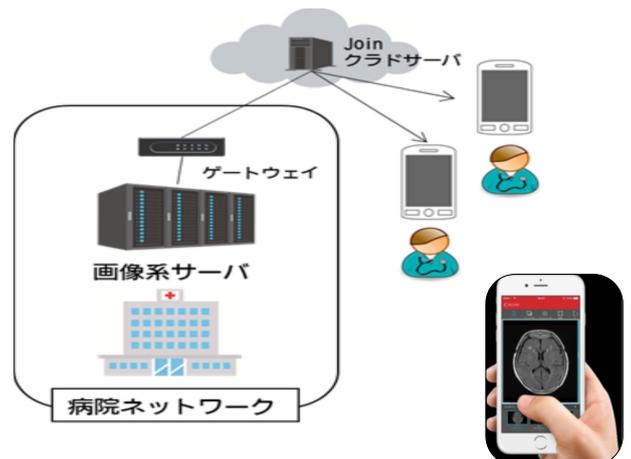
医療関係者コミュニケーションアプリ

JOINシステム導入

4月より熊本県内初となる「Join」を使った医療サービスを開始します。

「Join」とは、医療従事者間コミュニケーションアプリであり、「Join」を使うことで、チャットによる「チーム医療」が可能となり、クラウドサービスで病院間での連携が可能となります。

さらにPACS（医療用画像管理システム）などと連携し、必要な医療情報を共有することにより、早い診断を行うことで質の高い医療サービスを実現するものです。



4月1日(月)から

診療体制変更のお知らせ

新たに外来診察医が加わります。

杉村 勇輔 医師

常勤

杉村病院 脳神経内科医長 熊本大学病院 脳神経内科臨床教授 (前)熊本大学病院 脳神経内科特任助教
【資格】 日本内科学会認定医、日本神経学会専門医
 日本脳卒中学会専門医、日本脳血管内治療学会専門医

久木留大介 医師

常勤

杉村病院 糖尿病・代謝内分泌内科部長 (前)熊本大学病院 糖尿病・代謝・内分泌内科助教
【資格】 日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定内科医、日本内科学会認定指導医

安東 由喜雄 医師

非常勤

毎月第2金曜日(午後)

長崎国際大学副学長 薬学部、アミロイドーシス病態解析学教授
 (前)熊本大学病院 脳神経内科主任教授 医学部長
【資格】 日本内科学会認定医、日本神経学会専門医
 日本神経学会指導医、日本臨床検査医学会専門医

消化器担当 医師

非常勤

毎週月曜日(午前)・火曜日(午前)・水曜日(午前 午後)

消化器疾患の診療及び上下部内視鏡の検査を行います。

杉村病院 外来担当医師一覧表

令和元年5月現在

診療科目	月	火	水	木	金	土
循環器科	午前	松田宏史	堀内正孝	松田宏史	松田宏史	当番医
		堀内正孝		鐘ヶ江靖夫	堀内正孝	
	午後	急患のみ	急患のみ	急患のみ	急患のみ	
代謝内科	午前	熊本大学病院 松山先生	熊本大学病院 大塚先生	久木留大介	熊本大学病院 鶴田先生	熊本大学病院 担当医
	午後			小林先生		
整形外科	午前		松枝康弘	熊本大学病院 千丈先生 ※2		熊本大学病院 担当医 ※1
	午後					
総合診療科	午前	乾誠治				
	午後					
脳神経内科	午前		熊本大学病院 中根先生	杉村勇輔	長崎国際大学 安東先生 ※3	
	午後					
脳神経外科	午前	丸林 徹		丸林 徹	丸林 徹	
	午後			丸林 徹		
消化器科	午前	消化器内科担当医 ※5	熊本大学病院 消化器内科 鶴田先生 ※6			
	午後		熊本大学病院 担当医 ※7			

※1 9:00~12:00の診療

※2 13:00~17:00の診療

※3 13:00~17:30の診療(毎月第2金曜日のみ)

※4 14:00~17:00の診療

※5 9:00~13:00の診療

※6 9:00~12:00の診療

※7 13:00~17:30の診療

診療のご相談・ご予約などお気軽にお尋ね下さい。

医療法人杉村会
杉村病院

〒860-0811 熊本市中央区本荘3-7-18
 Tel. 096-372-3322 FAX. 096-371-0886
<http://sugimurakai.jp>

発行：杉村病院

編集責任者：広報レクリエーション委員会 高橋

着任のご挨拶



医療法人杉村会 杉村病院
糖尿病・代謝内分泌内科部長
久木留大介

経歴

H 4. 3 鹿児島県立鶴丸高等学校 卒業
H11. 3 熊本大学医学部 卒業
H11. 4 熊本大学医学部附属病院 代謝内科入局
H12. 4 熊本労災病院 内科
H13. 4 熊本大学医学部附属病院 ICU 出向
H18. 3 熊本大学大学院 医学博士取得
H20. 6 アルバート・アインシュタイン医科大学 M. Brownlee 教室に留学より帰国
H20. 7 菊池郡市医師会立病院 内科
H21. 4 熊本大学医学部附属病院 代謝内科医員
H23. 5 熊本大学医学部附属病院 代謝内科特任助教（熊本県糖尿病医療スタッフ養成支援事業に従事）
H28. 4 熊本大学医学部附属病院 糖尿病・代謝・内分泌内科 助教
H31. 4 杉村病院 糖尿病・代謝内分泌内科 部長

〔専門医・学会役職〕

日本内科学会認定医
日本内科学会総合内科専門医
日本糖尿病学会専門医・研修指導医
日本甲状腺学会専門医
日本糖尿病学会学術評議員、日本体質医学会評議員

熊本大学病院では、糖尿病や甲状腺疾患などの内分泌疾患を中心とした慢性・急性疾患の医療に携わりながら、熊本県庁や熊本県医師会等との糖尿病医療スタッフ養成支援事業を始めとした熊本県全体の糖尿病医療対策に従事してまいりました。この度、ご縁に恵まれ杉村病院にお世話になることになりました。近年、本邦の糖尿病患者数は、糖尿病の疑いがある者まで含めると2,000万人と推計され、日本人の4～5人に1人となっています。

日本は高度高齢化を迎えており、70～80歳代では2～3人に1人が糖尿病を患っているとも報告されています。さらに糖尿病患者は、他の生活習慣病である高血圧や脂質異常症を共に患っていることも多く、それらと深く関わり命の危険性につながる心疾患や脳疾患に進展する危険性も高くなっています。

このような中で2019年4月より、熊本市民の健康寿命延伸に貢献できる高度な心疾患や脳疾患医療を実践するための杉村病院のエキスパートな医師の一員として参加させていただくこととなりました。杉村病院スタッフとチーム医療体制を充実させ、糖尿病や脂質異常症、甲状腺疾患をはじめとした内科全般において患者様に寄り添い、人間関係を構築し、地域の皆様が不安なく健康寿命を延伸できるように日々精進を重ねて行く所存ですので、よろしくお願いいたします。

肥後ダビンチ塾にて

熊本県神経難病診療体制構築事業による肥後ダビンチ塾受講にて7名（看護師3名、PT1名、OT1名、ST1名、管理栄養士1名、社会福祉士1名）が平成31年3月31日「熊本県神経難病専門医療職」の認定証を拝受しました。認定を授与されたスタッフ一同は、今後も神経難病診療専門職として研鑽を積み地域医療に貢献していきたいと院長に誓いを立てました。肥後ダビンチ塾は、熊本県神経難病診療体制構築事業が実施している神経難病専門医療職の育成事業で、熊本県の地域医療介護総合確保基金により支援を受け、熊本大学病院の脳神経内科が主催されており、年8回の講習会への出席とテストの成績で熊本県神経難病専門医療職と認定されます。



医療法人杉村会「基本理念」

地域の人々の健康を守り、地域の人々から愛され、社会に貢献できる病院を目指します

「基本方針」

1. 心のこもった適正な医療サービスを提供します
2. 十分な説明をし、同意を得るための努力を惜しみません
3. 患者さまのプライバシーを守り、個人の尊厳が保たれるように努力します
4. 患者さまを診させて戴く事に感謝の心を忘れません
5. 高齢者の様々なニーズに細やかに対応します

今年もRKK女子駅伝に参加しました

平成31年2月11日(日・祝)熊本県民総合運動公園において、第48回 RKK女子駅伝競争大会が開催され、当院からも2チーム編成し参加致しました。今年のメンバーの中には1週間後の2月17日の熊本城マラソンに参加する者、日ごろからスポーツで体を鍛えている者、なんとなく参加した者等々、立場は違えど襷にかける思いは、ひとつ。仲間が目標に向かって一丸となり一生懸命走る姿は本当に素晴らしく感動いたしました。RKK女子駅伝に参加された皆さま、寒い中本当にお疲れさまでした。



土曜イオンみんなの広場で



毎週大江のイオン熊本中央店で大江/白川社会福祉協議会が主催している「土曜イオンみんなの広場」に当院も参加致しました。今回は体操指導と、冬場の心筋梗塞を予防するための10か条の演題で、お話をさせていただきました。今回参加された方々は体操に意欲的に取り組み、講演会では活発に質問され、とても有意義に過ごしていただけたのではないかと考えております。皆様も毎週土曜日10時からイオン熊本中央店で、健康教室を行っていますので是非ご参加ください。

旬の野菜は栄養がぎっしり！

～たけのこと春アスパラのペペロンチーノ風炒め～



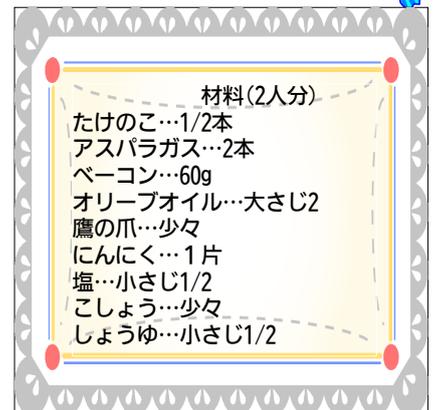
青葉若葉の美しい季節となりました。春野菜は寒さが厳しい時期に芽を出し、成長するための栄養素がため込まれています。そのため栄養が豊富なことはもちろん、解毒作用や抗酸化作用も高いといわれています。

【たけのこ】

亜鉛が豊富に含まれており、味覚を正常に保つ働きがあります。また、茹でてカットしたときに中に白い塊が付いていますが、それはチロシンと言ってアミノ酸の一種で、疲労回復やストレスの緩和、脳の活性化などの効果もあります。

【アスパラガス】

アミノ酸の一種のアスパラギン酸が豊富に含まれており、筋肉疲労時に溜まった乳酸をエネルギーに変える働きがあります。だるさや疲れを取り、疲労回復の効果があります。



一作り方

- ① アク抜きしたたけのこは 櫛切り、アスパラガスは斜め切り、ベーコンは大きめの短冊切り、にんにくは粗みじんそれぞれ切っておく。
- ② フライパンにオリーブオイルを入れ、にんにく・鷹の爪を炒める。
- ③ ②にベーコンを加えて、焼き色が付いたらたけのこ・アスパラガスも加えて強火で炒める。
- ④ 最後に調味料を加えて、お皿に盛り付けたら完成。どうぞお試しください。

栄養部：清崎、宮田